

# もりやま 市議会だより



No.165

2022年5月1日

市制施行50周年 がんばろう守山



春の訪れ

地域活動を見守る 草木の芽吹き

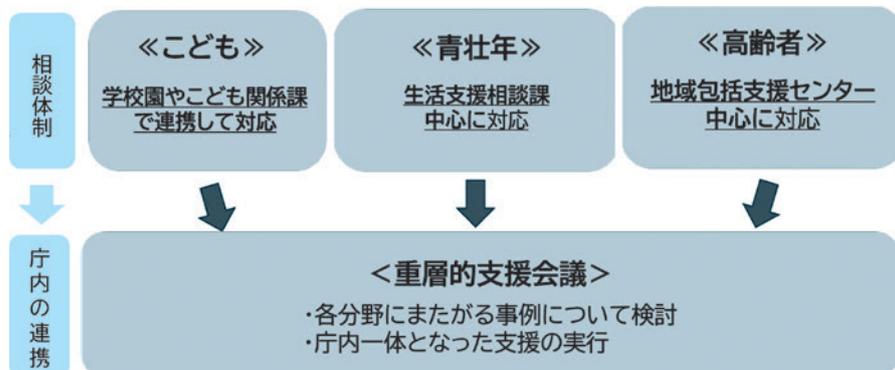


## Ⅱ 高齢者・障害者等が安心して生活できる環境の充実

地域共生社会を実現するため、世代や属性を超えた包括的支援体制を構築して、高齢者・障害者・生活困窮者等の支援の充実を図るとともに、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画やもりやま障害者福祉プランに基づいた事業を実施していきます。

### ①重層的支援体制の充実 **1,624万円**

〈相談支援体制〉



### ②放課後等デイサービス事業給付、障害者施設の新設支援等 **5億500万円**

### ③認知症高齢者等個別賠償任意保険事業等 **141万円**

### ④小規模多機能型居宅介護施設の整備等 **4,565万円**

### ⑤子宮頸がんワクチン接種等 **4,399万円**

### ⑥患者等へのアピアランス(がん患者用ウィッグ等支援) **10万円**



医療用ウィッグ

## Ⅲ 「豊かな田園都市」を目指したまちづくり

市制施行50周年を契機とし、次の50年先を目指すまちの姿「豊かな田園都市」に向けた事業の推進、市民活動の支援のための新たな枠組みの創設や、環境学習都市宣言の具現化などの実施により持続可能なまちづくりを進めます。

### ①ふるさと納税を活用した豊かな市民活動応援事業 **307万円**

### ②文化・スポーツの推進 **8億3,796万円** (3月補正含む)

(北部図書機能・コミュニティ機能整備、外遊び・市内ウォーキングマップ作成、自転車購入補助、伊勢遺跡公園建築工事等)

### ③環境学習都市宣言の具現化ともりやまエコパークの充実 **1,662万円**

### ④地域交通の充実(モーリーカー制度の見直し等) **3,154万円**

### ⑤起業・創業支援(地方創生) **500万円**

### ⑥JR守山駅東口における新施設整備(立入公園整備事業等) **2億5,526万円**

### ⑦市内産業への支援(中小企業デジタル補助) **6,986万円**

## Ⅳ コロナへの万全な対応と信頼される市政運営

新型コロナウイルス感染症対策について継続して行います。また、令和5年度供用開始に向け、火災に強く市民の安全・安心を支える新庁舎整備を進めるとともに、「自助・共助・公助」の連携による災害に強いまちづくりのため、地域防災の要である消防団員の処遇改善を行い、市民から信頼される市政の運営を行っていきます。

### ①新庁舎整備事業 **46億2,475万円**

### ②防災体制の充実強化 **8,345万円**

(北消防署出張所建替、消防団員処遇改善等)



【守山市役所新庁舎】

## 文教福祉常任委員会

### 子どもの通院医療費助成事業

子育て支援の更なる拡充に向け、令和4年10月から小学校6年生までの子どもに医療費助成を拡大  
※自己負担は1医療機関あたり月額500円まで(調剤は自己負担なし)

### 中学校給食の実施

#### ★ 県内13市のうち全校「自校方式」実施は本市のみ

守山中学校、守山北中学校、明富中学校の3校は令和4年度2学期から「自校方式」での給食を開始

- ◎小学校で培った自校給食の良さを活かす
- ◎調理員とのふれあい等・地場産物の積極的な提供による食育の増進
- ◎温かい給食
- ◎アレルギー対応など子どもの状況に沿ったきめ細やかな対応等を継続

#### 議員からの意見

コロナ禍による学級閉鎖などで余った食材等を福祉施設やフードバンクなどへの利用のルール化が出来ているのか。

### 国史跡 伊勢遺跡の整備について

- ・主要施設の遺構展示施設設計について、外部委員(学識経験者9名、地域代表他5名)で構成する「伊勢遺跡保存整備活用委員会」で協議
- ・滋賀県と連携、文化庁の了承を得て令和4年6月には主要施設の建築工事に着手する予定

#### 議員からの意見

- ・管理棟の職員は常駐にすべき
- ・災害時の避難所として使えるのか

### 北部図書機能およびコミュニティ機能の整備・管理運営について

北部地域に居住する多世代の住民の交流を促進するとともに、速野会館を増築し図書機能を整備します。

1. 事業内容 蔵書数：児童書14,000冊、一般書13,000冊  
子育て支援(読み聞かせコーナー、子育て実用書)、高齢者および一般市民向けの一般書、新聞・雑誌コーナーを配置

全体整備事業費 **4億7,394万円**

2. 開館時間、休館日について

- ①開館時間 午前10時から午後6時まで
- ②休館日 毎週木曜日および年末年始

3. 人員体制について

- ①図書館司書3名の体制とし、常時2名勤務とする
- ②速野会館、速野公民館、速野支所の人員体制は現行通り

4. 速野会館仮事務所について

令和4年1月から令和5年3月まで、旧JA速野支店に仮事務所を設置し、現速野会館の貸館は5月15日までとなります。

5. 駐車場等の整備について

駐車場A(現碎石舗装部分)…北部図書機能等利用者用にアスファルト舗装、外灯、ゲート、柵を設置  
駐車場B(現教職員用)…教職員用47台分、給食調理員用11台分



【北部図書機能・コミュニティ機能整備事業】

#### 議員からの意見

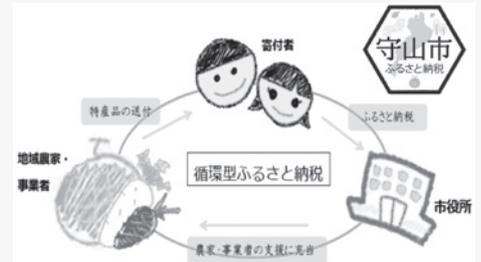
- ・速野会館との併設により駐車台数は大丈夫か。
- ・施設の木材にびわ湖材使用予定はあるのか。

## 総務常任委員会

### 令和4年度ふるさと納税使い道

令和4年度のふるさと納税の使い道について下記の表を(案)として、①こどもの成長を大切にするまち応援事業の(幼・保・小支援)から(子育て支援・教育)に変更、⑭豊かな市民活動のまち応援事業(市民活動団体指定)が追加され協議しました。

No.	使い道
①	こどもの成長を大切にするまち応援事業(子育て支援・教育)【※変更】
②	こどもの成長を大切にするまち応援事業(育英奨学金基金)
③	こどもの成長を大切にするまち応援事業(小中高等学校指定)
④	ホテルと花いっぱいのまち応援事業(地球環境・環境学習都市)
⑤	ホテルと花いっぱいのまち応援事業(ほたる基金)
⑥	文化の香り高いまち応援事業(文化財・文化・芸術)
⑦	文化の香り高いまち応援事業(文化芸術振興基金)
⑧	青少年赤十字精神による共助・互助の応援事業(市民参画)
⑨	読書日本一のまち応援事業(図書館)
⑩	遊び・スポーツで人が輝くまち応援事業(スポーツ・健康づくり)
⑪	遊び・スポーツで人が輝くまち応援事業(スポーツ振興基金)
⑫	「ピワイチ」のまち応援事業(自転車)
⑬	「農」税の農水産業の振興応援事業(農水産業)
⑭	豊かな市民活動のまち応援事業(市民活動団体指定)【※新規】



〔中学生のアイデアを活用した「もりやま循環型ふるさと“農”税」〕

#### 議員からの意見

- ・項目が多いと感じる
- ・団体が利用される時に、直接団体のところへ寄付が行くようなPRをしてあげてはどうか。また、寄付控除出来ることをPRして欲しい。
- ・本来のふるさと納税の趣旨に戻すよう、市長会で国に伝えてほしい。

## 環境生活都市経済常任委員会

### 守山市都市公園条例の一部を改正する条例

#### 環境学習都市宣言の具現化に向けて

令和3年度は「守山市環境学習都市宣言」で謳っている守山市の恵まれた環境を未来へつなぐとともに、自然を大切にする子ども達が育つまちを創り続けるため4月に開所した「もりやまエコパーク交流拠点施設」を環境学習の拠点とし各種の環境学習事業に取り組みました。令和4年度においては環境学習のテーマを「自然環境」として琵琶湖や野洲川など本市の恵まれた自然環境を活かしたフィールドワーク体験を取り入れた環境学習を実施します。

#### 環境学習都市宣言記念公園の一部供用開始

令和4年4月29日に新たに「グラウンドゴルフ場」「バラ園」「遊びの広場」がオープンしました。多くの市民の皆様が集う憩いの場として、さらには愛される施設として「環境」「健康」「交流」を育む人気スポットになると期待されています。ぜひ一度足を運んでみてください。

#### 議第33号 守山市一般会計補正予算

J R 守山駅東口への(株)村田製作所の誘致に伴い、市土地開発公社により先行取得した、J R 貨物所有地を買戻すための予算を可決しました。

補正額：2億4,151万円

## 子育て支援対策特別委員会

2月17日、子育て支援対策特別委員会を開催し、「守山市における発達支援の取り組みについて」発達支援課から説明を受け、協議・意見交換を行いました。また、2月から国の特例交付が行われることになった「保育士・幼稚園教諭等処遇改善に係る対応について」報告を受けました。

### 守山市における発達支援の取り組みについて

守山市では、乳幼児期から青年期・成人期を対象に「発達支援システム」に基づいて、発達障害のある者だけでなく「心身の発達に遅れや偏りのある、またはその疑いのある者」とその保護者を対象に、「個別支援計画」を作成し、情報の共有による継続的な支援を行っています。

幼児教育施設での支援対象児数・割合

	平成27年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
園児	543	15.3	442	13.4	333	12.3	310	11.7

小・中学校の通常学級での支援対象児数・割合

	平成27年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学生	733	13	943	16.8	922	16.4	1014	18.3
中学生	154	6	291	11.1	329	12.7	346	13

#### ＜＜検討すべき課題＞＞

##### ①情報共有の枠組みの拡大

民間事業者との情報共有、また、私学等、県立高校以外との情報共有も継続的に行う。一方、「個別支援計画」は個人情報を含むため、情報共有の枠組みの拡大は慎重な検討が必要。

##### ②成人期の支援

「大人の発達障害」が社会的関心となり、守山市でも相談を受けている。「ひきこもり」等当事者も含め、重層的支援体制の中での支援に努めていく。

#### 議員からの意見

- ・県平均より割合が高いのは、事象を見逃さない対応をしているということ。職員の資質が高い。就学前での気づきが大事。小規模保育園での指導はどうしているか。
- ・特別支援学級の職員体制は充足しているか。
- ・コロナ禍での支援体制をしっかりとできるようにしてほしい。
- ・乳幼児期の育て方のアドバイスが適切にされることが大事。保護者が安心して相談できる場を。
- ・高校との連携をしていることは素晴らしい。成人してから、生きづらさを感じている人を支援できる重層的支援体制を。

### 保育士・幼稚園教諭等処遇改善の対応について

#### 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業

保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業に勤務するすべての職員を対象に、令和4年2月から、収入を引き上げる。

補助基準額：月額 9,000円

#### 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業

放課後児童支援員や補助員、事務職員など放課後児童クラブに勤務する職員(非常勤職員を含む)を対象に、令和4年2月から、収入を引き上げる。

補助基準額：月額 11,000円

## 公共施設調査特別委員会

### 守山市福祉保健センターの今後の利用について

守山市福祉保健センター(すこやかセンター)は、介護保健課や障害福祉課等の事務部門が新庁舎へ移転した後も、検診や療育等の拠点施設として継続利用することとしています。

この方針のもと、長寿命化計画に基づき年次的に大規模改修を実施していくとの説明を受けました。

#### 今後の改修計画(予定)

年度	改修内容	
令和4年度	・屋上防水工事	
令和5年度	・空調設備更新 ・電気設備工事(電灯等)	・内装工事 ・レイアウト変更工事
令和6年度	・電気設備工事(キュービクル、自火報等)	
令和7年度	・外壁工事	
令和8年度	・機械設備工事(トイレ等)	

概算事業費4.1億円(金額は長寿命化計画作成時)



守山市福祉保健センター(すこやかセンター)

## 議会改革・広報広聴特別委員会

### 広聴機能の拡充について

#### <基本的な考え方>

市民と双方向で行政施策について、議論できる環境づくりとして、広聴機能を持たせた委員会等を実施するものである。

#### <委員会の企画概要>

- 議会からの報告や市民からの要望だけでなく、市を良くするための対話型イベントとする。
- 会場は市の施設を利用。予算は最小限とし、議会予算の範囲内に抑える。
- 対象は市内に在住または通学する中高生および大学生とし、夏休み期間中に行う。
- 参加者は15~20人、イベント時間は3時間程度とし、詳細はワーキングチームで検討する。

#### 議員からの意見

- ・グループワークの前半は、議会だより等の参考資料がある方が話しやすいのではないか。
- ・市民との対話について、大学教授などの専門家の意見も聞いて進めていきたい。
- ・テーマ設定や企画の詳細は、中高生などの若い世代にも直接意見を聞いてはどうか。
- ・2回目の議論で具体案まで絞れているのは良い傾向。このスピード感を大切にしたい。





## 新政会 代表質問

質問者 石田 清造

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** ワクチン接種にあたってもらう関係者の皆さんや、市職員を十分配置できるのか懸念されます。職員体制について如何お考えか、見解を伺う。

**答** 追加接種及び小児接種の実施にあたっては、引き続き、守山野洲医師会の先生方等のご協力をいただく中、集団接種においては会場運営を外部委託するなど、継続的に安定した業務運営ができるよう、実施体制を整えています。

### 安心な子育て環境・教育の充実と次世代育成の推進について

**問** 新型コロナの爆発的な感染拡大により、子どもたちの学習保障と、健全な生活維持に大きな影響が出ている。支援員やアドバイザー、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの人員配置が重要と考えますが、今後の見通しについての見解を伺う。

**答** 放課後学習教室の体制を拡充し、各家庭から児童が参加できるようオンラインでも開催し、子どもたちの学ぶ力の向上を図ってまいります。また、新たにQTA30を実施することで、初期段階に現れる心身の変化をとらえ、子どもたちの体の不調や心の課題に適切に対処してまいります。更に、来年度はスクールソーシャルワーカーの配置を充実し、学校間を移動して支援を行うなど、弾力的な運用を行ってまいります。

### 重層的支援体制の整備について

**問** 不登校やヤングケアラー等、複雑に絡み合う課題に対応していく上で、重層的支援会議が課題を整理し、関係機関をうまくつなぎながら支援方を決定していくことが重要なポイントになる。きめ細やかな相談支援を進めるとのことですが体制が出来ているのか、見解を伺う。

**答** 重層的支援会議で課題の解決を進め、不登校が解



消に向かった事例や、就労につながった事例、生活の改善につながった事例などが見受けられています。次年度からは、職員の担当学区を定めることにより、地域や関係機関との連携をより密にしていきたいと考えています。

### 高齢者福祉について

**問** 「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が地域包括ケアシステムの深化・推進を図っていくものとして策定されたが、本当に必要とされる方へサービスが行き渡る体制が整備出来るのか、見通しについて見解を伺う。

**答** 計画的な施設整備や在宅サービスの充実に取り組むとともに、介護人材の確保には、「介護職員支援事業・外国人人材支援事業」の周知を図るとともに、湖南3市と滋賀県南部介護サービス事業者協議会との連携を密に図りつつ取り組んでまいります。

### 障がい者福祉施策の充実について

**問** 障がいのある人が地域で自立した生活を送り、安心して過ごせる場を整備することによって、地域共生社会が実現する。今後の整備の見通しについて、見解を伺う。

**答** 今年6月に新たに1施設整備いただくことで、市内のグループホームは計11施設となる予定です。また、令和4年度整備に向けては1施設を国に申請中です。日中生活の場となる生活介護事業所を、この2月に開所いただきました。引き続き、障がいのある方が住み慣れた地域で健やかに安心して暮らすことがで

## 新政会(続き)

きるようグループホームの整備等により、居場所づくりに取り組んでまいります。

### JR守山駅東口における新施設整備等について

問 企業施設の誘致とともに、新都賀山荘の整備が進められる予定であり、守山駅東口は大きく生まれ変わるものと思われる。駅東側一帯の活性化を積極的に進めていく好機だと思うが、どのようにお考えなのか見解を伺う。

答 都市計画マスタープラン総点検で、西口を含め、JR守山駅周辺の立地特性と今後のあり方を検討しております。駅前という立地を活かした土地の高度利用を促すこと、良好な市街地環境を誘導すること、官及び民の空間を一体的に利活用し、居心地が良く歩きたくなるまちづくりについて、民間業者やまちづくり組織などと連携して推進することとしています。

### 農水産業の振興について

問 現状の支援をさらに拡充することはもちろんのこと、観光の視点を採り入れた活性化策、農福連携の推進や移住者支援による新しい後継者の発掘など、今までとは違った視点での事業の推進も必要なのではないかと考えるが、見解を伺う。

答 国・県施策とともに市独自施策も加える中で、農水産業に対する振興・支援を行ってきたところです。これまでからの支援に加え、新たな制度の創設について検討を行い、農業者および漁業者の取り組みが活性化するための施策に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

### スポーツ・文化を通じたまちづくりについて

問 国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会の開催は、スポーツ推進の機運を高めることができるだけでなく、守山市のことをPRする絶好の機会になるものと思う。本市は、この大会を、まちづくりにどのように生かしていこうとお考えなのか。見解を伺う。

答 多くの本市出身競技者が活躍できるよう、子ども達を対象とした選手育成に取り組むとともに、必要な施設整備や大会運営に携わるボランティア確保など、市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」こと

のできる環境づくりを進めます。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが、どこでも、いつまでも運動やスポーツに親しむことができる「健康元気なまち」の実現に繋げてまいります。

### 北部地域の振興について

問 大型の商業施設もあり、リブランドされた宿泊施設もある。道の駅構想を推進し連携を図れば、地域一帯が活性化することになるだろう。北部地域の振興について、今後の展望についての見解を伺う。

答 北部地域は、様々な用途に対応できる施設が整っており、幅広い年齢層の方々が、様々な目的を達成することができる、集客力を含め、ポテンシャルの高い地域であります。北部地域全体を如何に面的にまとめるか、施設間連携を如何に進めるかが課題であると認識しておりますことから、湖岸振興会の場等、あらゆる機会を活用し、民間事業者とも調整を図ってまいりたいと考えます。

### 自治体DXの徹底的な推進について

問 令和5年9月に新庁舎の共用が開始され、DXが推進される。デジタルが不得手である方に対するの対応やサポート体制についての見解を伺う。

答 新庁舎での「窓口のスマート化」におきましては市民に寄り添った丁寧なサポートを行うことが大変重要であると考えています。市民課付近には、手続き案内や用件聞き取り等を行うコンシェルジュの配置を予定しており、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進してまいります。

### その他の質問

- 3期目締めくくりの年にかかる市長の思いについて
- 『豊かな田園都市』を目指したまちづくりについて
- 環境センターの適切な運営とごみ分別の徹底について
- 市内産業の活性化について
- ふるさと納税を活用した豊かな市民応援事業について
- 防災体制の充実について
- 信頼される安全安心な都市インフラの整備について
- 脱炭素社会に向けた取組みについて
- 令和4年度予算編成について



## 翔政会 代表質問

質問者 酒井 洋輔

### 子ども達の教育とすこやかに成長できる環境づくりについて

**問** コロナ禍で小学校では基本的に朝8時30分から15時頃まで、3教科程度の学習を実施していると伺っている。これでは本来担保されている授業時間が確保されず、学力低下に拍車がかかるのではないかと。また、オンライン学習に伴う「授業を受ける態度・授業に向かう姿勢」についても課題があり、これもまた学力低下の要因の一つとなると考えるが見解を伺う。

**答** オンラインを活用して学習保障を行う中で、通常授業と同様に、教師による説明、個々に考える時間、児童生徒の意見を集約等、工夫して進めています。更にAIドリル等を活用することで基礎基本が定着するようにしています。また、家庭からオンラインを通じて学習に参加することは、学校とは違い、集中しにくい側面もあると推測されますが、オンライン授業ならではの好事例もあります。

### 市内事業者への経済支援について

**問** 新環境センター稼働に伴う事業系一般廃棄物の受け入れ規制により、廃プラ等が産廃処理による負担の増加が課題である。廃棄物処理にかかる費用の負担の軽減することで市内事業者へ対しての経済支援になると考えるが見解を伺う。

**答** 事業活動に伴って生じた廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、法に基づき適正に処理いただくことを事業者の皆様にかけております。事業活動に伴い発生する廃棄物の処理費用は、事業者が自らの責務においてごみの減量に取り組み、処理費用の低減を図ることが非常に重要であると考えています。

### 地域交通の充実について

**問** 「モーリーカー」について、様々な改善はされているが、全ての市民が制限なく利用できるというわけではない。子どもからお年寄りまでが安全安心な移動ができる交通手段として利用するには年齢制限の撤廃をするべきではないか、見解を伺う。



**答** 本市が目指す地域公共交通は、誰もが安心して移動できることを実現していくものであります。年齢制限を撤廃することは将来の1つの選択肢として考えており、先進地の事例を研究するなか、利用者数の見込み等を含む整理を行い、調査研究を進めていきます。

### 公立の保育園などにおける給食での守山市産米の使用について

**問** 農業者の一番の喜びは自分たちの生産した農産物を消費してもらうことである。本市で営農をしている農業者への支援として、また未就学児に対しての食育として、全年齢において主食を給食として提供するべきと考えるが見解を伺う。

**答** 3～5歳児の主食を園で提供することは、検討課題であると認識しています。考えられる課題等の整理を行う中、主食の提供に向けて検討を進めています。3～5歳児の主食が提供できる環境が整い次第、守山産米の使用を前提に、前向きに議論を行います。

### その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 待機児童対策について・保育士等の確保と定着化について
- 放課後児童クラブについて
- 子どもの通院費医療費助成の拡充について
- 中学校給食について
- 高齢者福祉について
- 障がい者福祉施策について
- JR守山駅東口における新施設整備等について
- 市内産業の活性化に向けた支援策について
- 水産業について
- 新庁舎整備とすこやかセンターの改修について 他





## ネットワーク未来 代表質問

質問者 森重 重則

### 新型コロナウイルス感染症対策について

問 感染者数では見えない生活の危機が存在しており生活支援策へどうつなげていくのか。

答 今後、国の制度を注視する中、最新の支援策をお届けできるよう努めてまいります。

### 生活支援について

問 庁舎横に利用者がほとんどない公共施設も見受けられます。市民の為に一刻も早く、生活支援における窓口を拡充し、プライバシーに配慮した形で相談できる体制が必要だと考えるが。

答 新庁舎においては相談室を十分に確保することとしており、より充実した相談環境を提供できるものと考えております。

### 市内事業者への経済支援策について

問 コロナ前のH21年H31年の10年間で商工分野の減少が著しくわかりました。今後の経済政策をどう考えているのか。

答 まちのDXとして市内事業者のデジタル化を強力に推進してまいります。

### 児童虐待相談について

問 虐待予防を行うショートステイ事業を市が掲げていますが、ショートステイは1泊2日3食の食事提供をして単価5,500円であり、受入側の事業者が費用負担しているのが現状であります。利用実態もほとんどなく、児童虐待の課題解決にならないと考えますが。

答 利用決定は市が行うことから、施設において単価が安いから利用実績が上がらないことは、直接つながるものではないと考えております。

### 高齢者福祉について

問 人材確保についてスピード感を持って進めていくことが重要であると考えますが。

答 活動に対する公的支援のあり方は、しっかり研究してまいります。



福井 寿美子

森重 重則

國枝 敏孝

### 障がいのある子どもたちの進路について

問 きめ細かな情報提供と相談体制、また就労機会の創出についてどう進めるのか。

答 関係機関が連携し、保護者と共に考え、納得の上、一人ひとりに合った就学先を決定できるよう働きかけていきます。

### 環境学習都市宣言の具現化について

問 R4年施政方針全21ページの文章で「はたる」の文字は一文字もありません。市民の皆様が大切にされてきた価値観を無視されているようで非常に残念であります。守山のシンボルであるホテルをどのように後世へつないでいこうと考えているのか。

答 日頃よりホテルの保全に取り組んで頂いている皆さまにお詫び申し上げますと共に、今後はこのようなことがないように適切な水を確認できるよう取り組みます。守山市のシンボルであるホテルが棲まうまちを未来につなげていきます。

### JR守山駅東口における新施設整備等について

問 駅西口については、村田製作所の誘致以前から交通渋滞や混雑緩和を目的に検討が進められていたが、守山駅東口とどうつながるのか。

答 西口・東口を合わせた総合的な検討が必要であります。西口・東口を合わせた一体的な議論を行い、最終案の取りまとめに向けて進めていきます。

### 伊勢遺跡の整備事業について

問 今後、全体像や建物などを市民に分かりやすく、イメージしやすい説明があると良いと思いますが。

## ネットワーク未来(続き)

☒ 地元住民との意見交換を行い、広報やHPを通じて、CG動画や模型を活用する中、全体像や施設建物をイメージできるように、広く周知していきます。



## 日本共産党議員団 代表質問

質問者 藤原 浩美

### 新型コロナ対策について。医療体制の強化、生活の支援、子どもの学びの保障を。

☒ 医療施設、介護施設、教育機関の従事者には、定期的なPCR検査の体制確保と広範囲な検査の実施、抗原検査の配布などが必要ではないか。

☒ 感染者が出た場合、広く検査できるように市独自の助成をしています。抗原検査キットの配布は考えていません。

☒ 安心できる医療確保の視点から滋賀県立総合病院等の独立行政法人化を安易に進めるべきではない。

☒ 地域医療の拠点病院として質の高い医療が安定的に提供できるように県に意見を上げていきます。

☒ 若年者を中心に広がるコロナの感染の状況はどうか。感染拡大の中、子どもの学びの機会をどう保障していくのか。教職員等への検査、ワクチン3回目接種を積極的に進めるべき。

☒ 陽性者が出た場合3日間の学級閉鎖をし、タブレットの活用などもしています。子どもの創意工夫した取り組みも見られる一方、不安を持つ子どももおり、適切に支援をしています。保健所の検査対象者以上に必要に応じて市独自で検査を実施しています。教職員・幼保施設・児童クラブ職員への集団接種を実施しています。

### 施政方針について

☒ 守山市の当初予算規模は年々膨らみすぎている。職員の働き方改革、ワークライフバランスに逆行する。事業の見直しをすべき。コロナ禍のもと、暮らしへの支援を優先すべき。

### 避難所の整備について

☒ JR東側の取付け道路から伊勢町間のエリアの避難所については現在の都賀山荘1つであります。いつ発生するかわからない災害がある中、市民の皆様命に関わり一番重要な防災の観点から、このエリア唯一の避難所をどう確保しようと考えているのか。

☒ 民間施設との災害応援協定の充実等により避難所の確保に向けて取り組んでいきます。



小牧 一美

藤原 浩美

☒ 優先順位などを見直し事業を決定し、ICT化による事務の効率化、軽減を図り、「選択と集中」による事業の重点化を図ります。

### 重層的支援体制の充実

☒ 重層的支援体制が求められる。市民から信頼される相談・支援のために、職員体制を充実するべき。

☒ 会議を通して連携、研修、経験を積み上げ、職員のスキルアップを図ります。

### 守山駅東口再開発について

☒ 議会軽視であり、庁内協議も不十分。市民への説明も不十分なまま推進される駅東口再開発は問題である。

☒ 議会と協議、パブリックコメント募集、市民説明会を行ってきました。

### 環境センターの運営とごみ処理について

☒ 環境センターの煤じん処理物や排ガスのダイオキシン濃度を定期的に検査し、結果を公表すべき。ダイオキシン類発生リスク、焼却炉負担軽減のため、ごみ処理方法、ごみ分別を見直すべき。



## 日本共産党議員団(続き)

☑ 安全確保のために煤じん処理物は1ヶ月に1回、排ガスは2ヶ月に1回分析し、ホームページで公表しています。ごみの展開検査、市民への周知により、ごみ処理を進めていきます。

### 移動手段の確保について

☑ 「モーリーカー」の利便性拡充や路線バス利用助成は一定評価するが、誰でも利用出来る市内巡回バスの運行を検討すべき。

☑ 既存バス路線の圧迫、運行経費の点から考えていません。

### 自治体DX推進について

☑ ICTの苦手な人への親切丁寧な対応が必要である。自治体の持つ個人情報を守られるのか。個人情報保護を今まで通り進めるべき。

☑ 市民に寄り添った温かい丁寧な対応をする。個人情報を厳正に管理していきます。

### その他の質問

- 国政の諸課題(改憲の動き、核兵器禁止条約、日本の経済政策、社会保障、気候変動)について
- 農水産業への支援について
- 学校給食について・地方創生、企業
- 創業支援事業について

## 自由民主党 代表質問



### 質問者 森 貴尉

☑ 総合的に環境施策に関連する事業の展開があるが、環境にかかわる施策の現状認識と目標について、環境施策の効果の評価と財源について伺う。

☑ 脱炭素社会に向けた積極的な取組の必要性は認識している。守山市環境基本計画の中間見直しの中で議論をして、充実、発展させる。「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」活用に向け検討します。

☑ 中山道に関連する歴史文化の継承や景観保全について、民間の活用手法について伺う。

☑ 地域や民間の活力を活かした歴史文化ネットワーク体制の構築や担い手の育成など「守山市文化財保存活用地域計画」に基づく取組を進め歴史文化の継承に努めます。

☑ 第3期守山市スポーツ推進計画がスタート。県においては、びわ湖毎日マラソンに代わる新たなマラソン大会が令和5年3月に大津市、草津市、守山市の道のり往復コースで計画されている。スポーツを「ささえる」活動推進として、誰もが参画できるボランティアの仕掛けについて伺う。

☑ スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ関係団体の皆様に加え、県内大学と連携を図り、スポーツボランティアを確保する仕組みを構築します。



森 貴尉

高田 正司

☑ 産婦人科医開設に係る事業費補助制度については、情報収集し、医局や医療関係者に働きかけをしないと実現しないのでは、現在の取組み状況と制度の見直しについて伺う。

☑ 補助制度を創設し制度周知を図りましたが未だに誘致には至っていません。国・県等への働きかけを実施しており、昨年10月には県市長会を通じ県へ要望、今春には、全国市長会を通じ国への要望を準備しているところです。

☑ 「第2期守山市教育行政大綱」において教育目標を掲げ、本年で最終年でもある。大規模校と称する守山、吉身、河西においては、どの学年も多く32人程度が収まりきらず、33人、34人の学級が予定あり。少人数学級の定義を32人程度で解釈していくことについて伺う。

## 自由民主党(続き)

問 国の基準が35人でありそれよりもさらに少ない32人程度の児童数により1年生から3年生までの時期の教育を充実させることかできる観点から、32人程度学級を継続していきます。

問 市民の声と指定管理者の目的や積極的な提案と手法の評価、補助金や交付金、負担金が初期の目的に活かされているのか、透明性・公平性をしっかりと確保した中で、指定管理者制度の評価と情報公開を積極的に図るべき。

答 指定管理者に民間の強みを活かしたサービスの向上を求めつつ市として積極的に協力し「緊張感のあるパートナーシップ」を構築すべきと考えています。互いに切磋琢磨しながら、市民の皆様により良い施設となるよう取組みます。



## 公明党 代表質問

質問者 山崎 直規

### 安心な子育て環境・教育の充実と次世代育成の推進を。

問 ホームスタート事業について市でも検討すべきではないか。

答 本事業は既存の「養育支援訪問事業」ではカバーしきれない幅広い対象者に対し有効な施策であると認識しており、まずは国による具体的な制度設計を見定める中、先進事例を研究する中、前向きに検討してまいりたいと存じます。

### 高齢者・障がい者等が安心して生活できる環境の充実を

問 他市では、就労体験を事業者に委託し、参加したひきこもりの方に対し、市から財政支援を行うことで、代金を得る取組を行っている。同様の手法で引きこもりの方の外出を促進するべき。

答 本市におきましても、現在開設準備を進めている地域食堂、いわゆる「再縁寺」においては、ひきこもりの方が働き、対価として相応の賃金を得る仕組みとしており、こうした取組により、ひきこもりの方の社会参加を進めてまいりたいと考えております。

### マイナンバーカード健康保険証利用について

問 守山市内の医療機関や薬局でのマイナンバーカードの健康保険証利用状況は。



答 守山市内の医療機関や薬局でのマイナンバーカードの健康保険証利用状況については、本年2月27日現在、27か所の医療機関や薬局で健康保険証として利用促進に利用できることとなったところです。

### 市職員のリスキリング(人材育成)について

問 デジタル人材育成(リスキリング)についての見解を伺う。

答 来年度からは、DX推進体制として、CIOである副市長を筆頭とする全庁横断的組織を作るとともに、CIOを補佐する外部人材であるCIO補佐官を配置する事としており、この専門的な知見を有するCIO補佐官から、「情報システムの最適化」「調達の適正化」等に対する助言を得る中、DXにかかる「職員の意識改革」「ICTスキル向上」等に取り組んでいきます。

